

平成29年度

管内事業概要

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



国営かんがい排水事業 兵村地区（湧別町）



オホーツクサイクリング（網走川）



十勝オホーツク自動車道

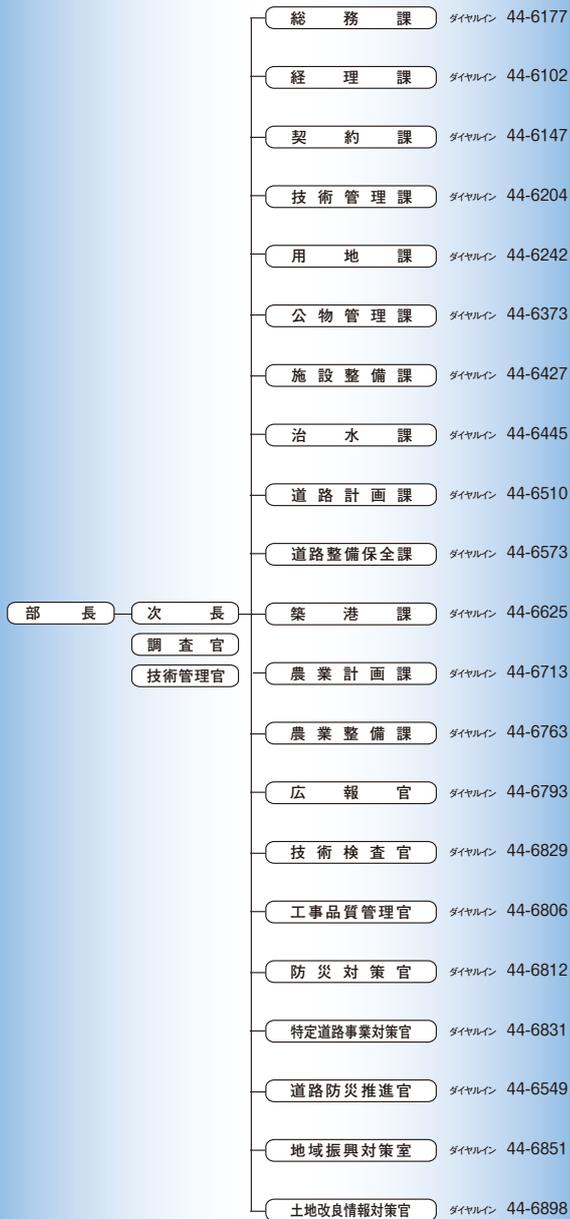


ウトロ漁港

網走開発建設部の機構

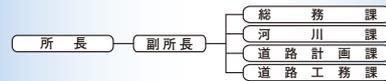
本部

●網走開発建設部 代表電話 0152-44-6171 (夜間・休日等)
〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号



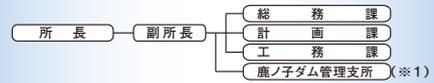
事務所

●遠軽開発事務所 代表電話 0158-42-2181
〒099-0404 紋別郡遠軽町大通北7丁目

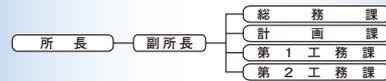


●北見河川事務所 代表電話 0157-23-6118
〒090-0802 北見市田端町71番地

●鹿ノ子ダム管理支所 代表電話 0157-54-2341
〒099-1254 常呂郡蘆野町字常元(※1)



●北見道路事務所 代表電話 0157-36-2281
〒090-0838 北見市西三輪5丁目9番地1



●網走道路事務所 代表電話 0152-43-4328
〒093-0045 網走市大曲1丁目6番3号



●興部道路事務所 代表電話 0158-82-2155
〒098-1603 紋別郡興部町字興部120番地の2



●網走港湾事務所 代表電話 0152-44-5251
〒093-0032 網走市港町3番

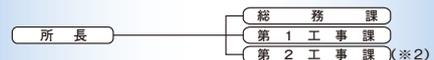


●紋別港湾事務所 代表電話 0158-23-5281
〒094-0003 紋別市并天町1丁目2番10号



●北見農業事務所 代表電話 0157-36-2371
〒090-0837 北見市中央三輪7丁目446番地の62

●雄武分庁舎 代表電話 0158-84-4601
〒098-1702 紋別郡雄武町字雄武1504番32(※2)



●網走農業事務所 代表電話 0152-44-6940
〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号



「世界の北海道」を目指して —北海道総合開発計画—

これからの北海道の戦略

「食」「観光」が戦略的産業

人口減少時代にあっても、
①北海道には世界と競争し得るポテンシャル
②アジアなど世界の市場が拡大傾向

農林水産業、観光等を担う「生産空間」を支え、「世界の北海道」を目指します

次の10年(新計画)の重点取組

- (1)交通ネットワーク強化と重層的な機能分担
●北海道新幹線 ●空港・港湾 ●高規格幹線道路網 等
- (2)農林水産業の競争力・付加価値向上
- (3)世界水準の観光地域づくり
- (4)地域づくり人材の発掘・育成

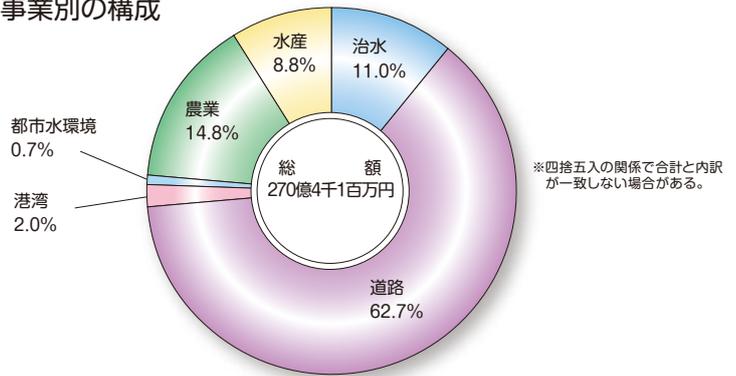


平成29年度 事業費総括表

事 項	平成29年度予算額
治 水	29億8千1百万円
道 路	169億6千3百万円
港 湾 整 備	5億3千1百万円
都 市 水 環 境	1億7千6百万円
農 業 農 村 整 備	40億6百万円
水 産 基 盤 整 備	23億8千4百万円
合 計	270億4千1百万円

※農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。
なお、四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

事業別の構成



※四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

管内の概況

位置・気候

管内の西部を南北に北見山地、南部を東西に千島火山帯が走り北東部は280kmにわたってオホーツク海に接し、3市14町1村で構成されています。

気候は、冬期間の寒さは厳しいものの比較的穏やかで、年間平均降水量が800ミリ程度と少なく、日照時間に恵まれた地域です。

また、沿岸部ではおおむね1月下旬から3月にかけて、オホーツク海特有の流氷により海面が覆われます。しかし、地球温暖化の影響を受け、近年は減少傾向となっています。

産 業

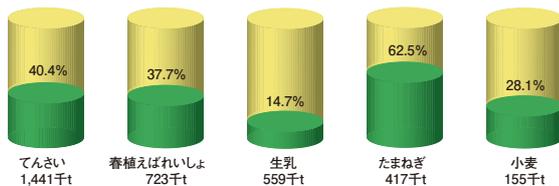
農 業

管内の農業は、畑作と酪農を中心とした大規模農業が展開され、我が国の総合食料基地として重要な役割を担っており、耕地面積は16万6,500haと全道の14.5%(平成26年を占めています)。

畑作物では、寒冷地に適したてんさい、春植えばれいしょ、たまねぎと小麦を中心とした野菜類が主に作付けされています。また、畜産では、酪農、肉用牛生産が中心となっています。

農業生産量(平成26年)は、てんさい144万1千ト(全道比40.4%)、春植えばれいしょ72万3千ト(同37.7%)、生乳55万9千ト(同14.7%)、たまねぎ41万7千ト(同62.5%)、小麦15万5千ト(同28.1%)となっています。

主要農産物の道内生産量シェア(H26)



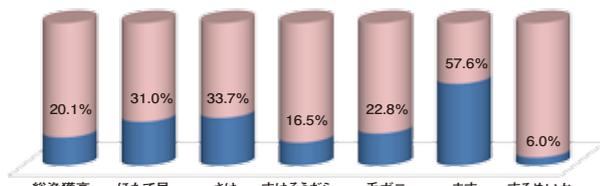
出典：オホーツク総合振興局「オホーツクの農業2015～統計編～」

水産業

管内の水産業は、オホーツク海沿岸を漁場とするほたて貝、網漁業、さけ定置網漁業並びに沖合海域を漁場とする沖合底引き網漁業を中心に営まれています。

漁獲量平成27年は、20万8千ト(全道比20.8%)となっています。

総漁獲高と上位6品目の道内シェア(H27)



出典：北海道水産林務部「平成27年北海道水産現勢」

オホーツク管内沿岸の流氷観測(平年値)

観測地点	流氷初日	流氷終日	期 間	流氷接岸初日	海明け
網 走	1月 21日	4月 11日	81日間	2月 2日	3月 20日
紋 別	1月 23日	4月 3日	71日間	2月 6日	3月 14日
雄 武	1月 25日	4月 1日	67日間	2月 3日	3月 15日

※統計期間 1981～2010年 雄武は2004年、紋別は2007年に観測終了
出典：気象庁「北海道沿岸の流氷観測」

林 業

森林面積は、平成28年4月1日現在、769,775haで管内総面積の72.0%を占め、全道森林面積の13.9%に当たり、所有比率は、国有林55.9%、道有林14.0%、市町村林4.4%、私有林25.6%となっています。

総蓄積は、141,874千m³で全道森林蓄積の18.1%を占め、道内の主要な木材生産地となっています。

樹種別蓄積量は、トドマツ・エゾマツ・カラマツ類等の針葉樹が64.2%、ナラ類・カンバ類・シナノキ等の広葉樹が35.8%となっています。

出典：北海道水産林務部「平成27年度北海道林業統計」

商 工 業

管内の工業は、食品製造業、木材木製品製造業など第1次産業に関連した地場資源利用型工業が主体ですが、携帯電話端末の主力拠点工場が立地するなど、最先端技術を用いた製造業も重要な位置を占めています。

工業出荷額平成26年は、3,402億円(全道比5.1%)となっており、そのうち食品の出荷額が2,418億円(同12.2%)と71.1%を占めています。

また、管内の商業では、年間商品販売額平成26年が6,692億円(全道比4.1%)となっています。

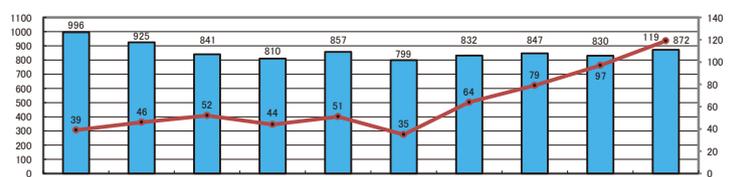
出典：北海道総合政策部「平成26年工業統計調査」、経済産業省「平成26年商業統計調査」

観 光

管内には、世界自然遺産に登録された知床と阿寒の2つの国立公園、ラムサール条約登録湿地の霧瀧湖を含む網走国定公園のほか、2つの道立自然公園があります。山岳・湖・海などの豊かな自然景観とともに流氷、サンゴ草など他の地域には見られない四季折々の多彩な観光資源に恵まれています。

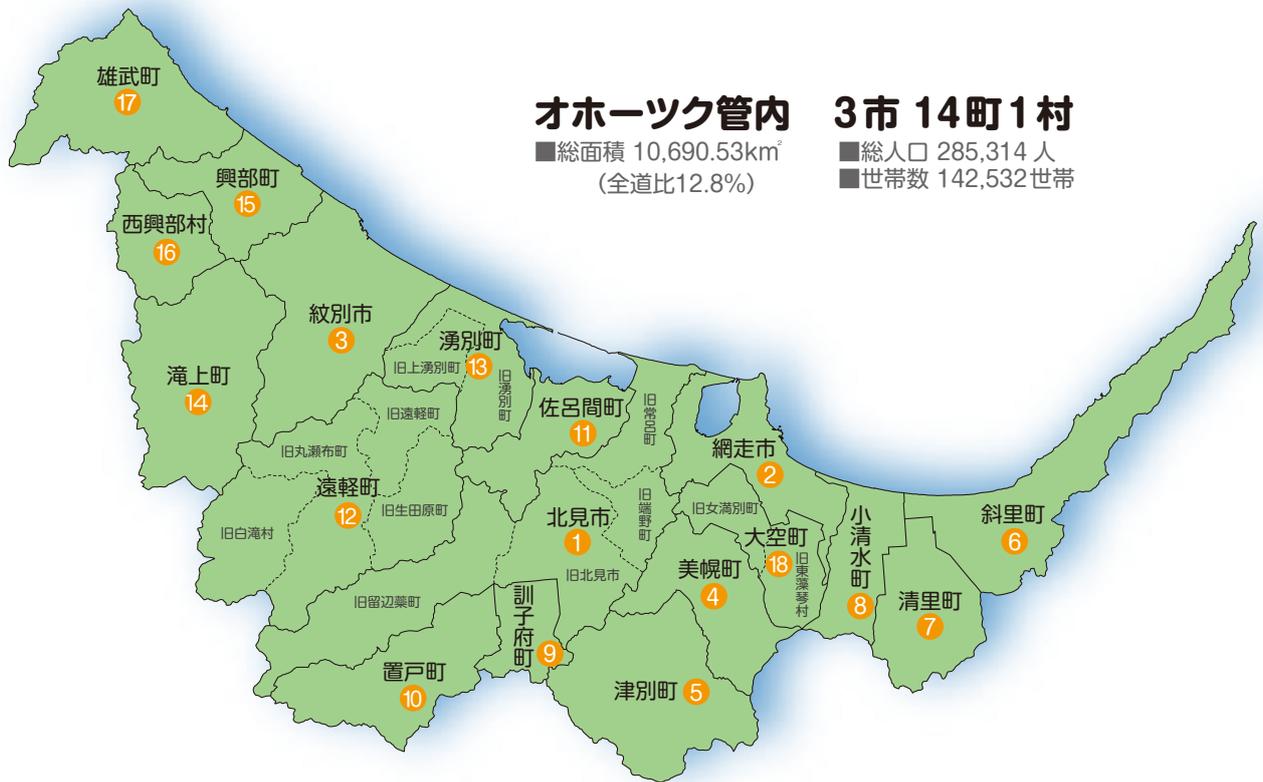
管内を訪れる観光客の入り込み数は、872万人(平成27年度)となっており、夏型のイベントに加えて、流氷や冬のスポーツを利用した冬型のイベントも各地で盛んに行われています。

管内の総入込数及び外国人宿泊客の延人数の推移



出典：北海道経済観光局「各年度北海道観光入込数調査報告書資料編」

管内市町村の概要



オホーツク管内

■総面積 10,690.53km²
(全道比12.8%)

3市 14町 1村

■総人口 285,314 人
■世帯数 142,532 世帯



1 ■面積 1,427.41km² ■人口 118,846 人
東西 110kmと、日本で最も長い自治体で、面積も全道一。管内商工業の中心都市です。年間日照時間の長さは全国有数で、タマネギ生産量日本一を誇る農業や、ホタテなどの漁業も盛ん。これらは「オホーツク北見塩やきそば」に欠かせません。また、ラグビー合宿やカーリングなどで知られる、スポーツ都市という一面も。温根湯温泉は、リニューアルされた「山の水族館」が人気です。



2 ■面積 471.00km² ■人口 36,168 人
春・水芭蕉群落に囲まれた網走湖、夏・市民花園に彩られる天都山、秋・サンゴソウが湖岸を埋め尽くす能取湖、冬・砕氷観光船「おーら」からの迫力ある流水など、一年を通して美しい風景が広がります。「天都山展望台」や「感動の径(みち)」からの眺望も絶景。海の幸に恵まれているのはもちろんのこと、網走湖はシジミやワカサギの、一大産地でもあります。



3 ■面積 830.71km² ■人口 22,401 人
巨大なドリル状スクリーで突き進む「砕氷船ガリンコ号II」、「氷海展望塔オホーツクタワー」、「流水科学センター」など、流水観光でよく知られています。カニに代表される海産物も魅力です。かつて東洋最大と誇られた鴻之舞金山跡と、その歴史を伝える上管内駅通所が、近年静かな注目を浴びています。オホーツク紋別空港が立地する、管内北部(遠軽地域)の中核都市です。



4 ■面積 438.41km² ■人口 20,036 人
日本最大のカルデラ湖・屈斜路湖と噴煙たなびく硫黄山、知床や阿寒の山々の大パノラマが広がる美幌峠は、オホーツクは元より、全道でも屈指の観光地。圏域の主要都市に近接する優れた立地と、気候にも恵まれ、活気ある町です。畑作・畜産など農業が盛んで、とりわけ自慢の豚を玉目に、広く売り出し中です。



5 ■面積 716.80km² ■人口 4,907 人
林業が盛んで、木材・木製品製造業出荷額は全道一を誇り、市街地のすぐ近くで、巨大な貯木場を見ることが出来ます。美幌峠を見下ろす津別峠展望台と、その麓にある一件宿の奥屈斜路温泉、可憐なクリンソウの群落。それに原始の森に囲まれ静けさに満ちた秘湖・チミケップ湖など、選りすぐりの山村の魅力に満ちあふれています。



6 ■面積 737.12km² ■人口 11,667 人
半島の北半分を占め、知床峠・知床五湖・カムイワッカ湯の滝・オシロコシの滝などのある、世界自然遺産知床を代表する町です。観光拠点のウトロ地区は豊かな温泉郷でもあり、賑わいを見せています。農業と漁業も町を代表する産業で、中でもサケ・マスは漁獲量は日本一。地場産の優良な食品を「知床しゃりブランド」として積極展開しています。



7 ■面積 402.76km² ■人口 4,176 人
町を流れる斜里川が清流日本一に輝くなど、名前のとおり清らかな里です。美しい景観は、全国農村景観百選など、数々の賞を受けています。冬場は人を寄せ付けぬ裏摩周展望台や神の子池など、神秘的な自然も見逃せません。地場産のじゃがいもを使った焼酎は、日本初の本格じゃがいも焼酎として珍重されています。



8 ■面積 286.89km² ■人口 5,022 人
道内に原生花園はいくつもあると、最も有名なのがここにある小清水原生花園ではないでしょうか。オホーツク海と、ラムサール条約登録湿地・満沸(とうふう)湖にはさまれた海岸に、異国のような風景が広がります。また、ゆりの郷こしむす「リリーパーク」は、13haの広大な敷地に、100品種・700万輪を超えるユリが咲き誇り、夏を彩ります。



9 ■面積 190.95km² ■人口 5,135 人
管内で最も小さな町ですが、面積の4割近くが農地として利用される純農村地帯です。地域の基幹作物であるピート・小麦・じゃがいもを軸に、水稲・野菜・果物・花卉それに生乳など、幅広く質の高い農業が行われ、高い評価を得ています。特に「くんなつメロン」は、メロン栽培の盛んな北海道の中でも、ひととき人気があります。



10 ■面積 527.27km² ■人口 3,014 人
木目の美しさが特徴の食器など、生活に溶け込んだ木工品「オケクラフト」が町のシンボル。むろんそれは、管内西部の林業拠点である置戸の豊かな森のたまものです。その自然を満喫できるのが、鹿ノ子ダム(おけと湖)下流にある、鹿の子沢です。全国巨木百選に選ばれた三本柱や虹の滝など、充実したハイキングが楽しめます。



11 ■面積 404.94km² ■人口 5,169 人
全国第3位・北海道ではナンバーワンの面積を持つサロマ湖は、その雄大な景観とともに、ホタテやカキ、ホッケイシマエビなど豊かな水産資源をもたらしてくれます。そして、水産業と並び畑作・酪農など農業も町の主要産業ですが、とりわけカボチャは、マスコットキャラクターにも使われるほど、町を代表する作物となっています。



12 ■面積 1,332.45km² ■人口 20,431 人
町のシンボル展望岩(かんぼういわ)と日本最大級のコスモス園の旧遠軽町、世界中から収集した木のおもちゃを集めた「ちゃちゃワールド」の旧生田原町、北海道遺産・森林鉄道蒸気機関車「雨笠21号」の旧丸瀬布町、道内3番目のジオパークに認定された白滝黒曜石遺跡の旧白滝村、これら4つの個性で魅力的な町村が合併して誕生しました。



13 ■面積 505.79km² ■人口 8,999 人
120万本もの花が春を告げるチューリップ公園のある旧上湧別町と、オホーツク海やサロマ湖の恵みと酪農で栄える旧湧別町が、分村から一世紀を経て再び一つになりました。ここをそれぞれ起点・中継点・終点とするサロマ湖100kmトラマラン、オホーツクサイクリング、湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会は北海道を代表する超・長距離イベントです。



14 ■面積 766.89km² ■人口 2,683 人
日本最大級である「芝ざくら海上公園」の芝ざくらは有名ですが、国内唯一の商業栽培が行われている「ハッカの町」でもあります。また、陽殖園(ようしょくえん)は8万㎡の敷地に約800種類の季節の花々が咲き誇ります。市街地の中を流れる珍しい深谷・錦仙峡(きんせんきょう)を楽しむ渚滑川渓谷遊歩道は、美しい日本の歩きたくなるみち500選に選ばれています。



15 ■面積 362.54km² ■人口 3,830 人
オホーツクを代表する酪農のまち、興部。それは、全国にその名を知られる牛乳・乳製品、食肉加工品の数多でも証明されるでしょう。町内に多数ある個性的なチーズ工房や牧場直営レストラン、アイス・ソフトクリーム販売店は、どこも大満足のおいしさです。すっかり北海道土産の定番になった生キャラメルは、この町で生まれました。



16 ■面積 308.08km² ■人口 1,108 人
管内唯一の村で、人口は全道4番目の少なさですが、力を入れている地域情報は、全国の模範例となっています。ホテル「森夢(リム)」、森の美術館「木夢(コム)」、マルチメディア館「IT夢(アトム)」、道の駅「フラワーパーク」花夢(カム)の4施設がランドマーク。最近では、地元で多数生息するエゾシカの飼育と食用化に取り組んでいます。松茸焼酎が特産焼酎「にしおこっぺ」として復活。



17 ■面積 636.86km² ■人口 4,370 人
オホーツク海に突き出た日の出岬は、流水が一望できるオホーツクオムイ温泉や、魅力的なキャンプ場などがある観光スポット。基幹産業の漁業では、毛がにとサケが代表的な水産品ですが、サケのうちでも特に、数千尾に1本ともいわれるメジカ(目近)や独自ブランド「雄宝」として厳選された天然銀毛サケは高値で取引されています。



18 ■面積 343.66km² ■人口 7,352 人
空の玄関・女満別空港を擁する旧女満別町と、日本最大級の芝桜公園に花のじゅうたんが広がる旧東藻茅村が合併して生まれた新しい町です。農地が4割を占める屈指の農業基地としての面を合わせています。畜産加工にも力が入っており、地場産品の販売所には、自慢のチーズや食肉加工品が並びます。シジミやシラウオなど、網走湖の内水漁業も見逃せません。

※面積は平成28年10月1日現在全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院調べ)
※人口は平成29年3月末現在、世帯数は平成28年1月1日現在の住民基本台帳ネットワークシステムの入力状況であり、各市町村が公表する人口と一致しない場合がある。

治水事業

管内の治水事業は、一級河川網走川水系(直轄管理延長 65.7km)・常呂川水系(直轄管理延長 99.8km)・湧別川水系(直轄管理延長 31.5km)・渚滑川水系(直轄管理延長 24.5km)の河川改修及び維持修繕、鹿ノ子ダム等の管理です。

平成 29 年度は、第 8 期北海道総合開発計画に掲げられた「世界の北海道」を実現するため、強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成に資するためのインフラ整備・老朽化対策の促進を図るほか、平成 28 年 8 月に北海道に襲撃した一連の台風により大きな被害を受けたことを踏まえ、関係機関が連携してハード・ソフト対策一体の取組を緊急的に実施すべくとりまとめた「北海道緊急治水対策プロジェクト」の推進及び、平成 27 年度から推進している「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく治水対策の推進を図ります。

◆ 河川改修

- 網走川
近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。
- 常呂川
近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。
- 湧別川
近年頻発する洪水被害を軽減するため、堤防の天端保護を実施し、堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫します。
- 渚滑川
近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。

◆ 河川維持修繕

安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・点検を行うとともに、既存施設が機能発揮するよう、必要な河川構造物の補修、設備の更新を行うなど、地域との連携及びコスト縮減に努めつつ、的確な河川の維持管理を実施します。

◆ 河川工作物関連応急対策

河川構造物の機能が、その前後の施設に比べて劣る場合に、応急的に改良工事を実施します。

- 網走川
老朽化や塩害により機能低下している特殊堤コンクリート矢板の補修を実施します。

◆ 堰堤維持

- 鹿ノ子ダム
管理用制御処理設備の改修及び施設の点検整備、観測・操作、流木処理などの維持管理を実施します。

◆ 河川災害復旧

平成28年8月台風により被害を受けた網走川・常呂川・湧別川・渚滑川において、「北海道緊急治水対策プロジェクト」を推進します。

- 網走川
河川災害復旧事業により漏水対策を実施します。

- 常呂川
河川災害復旧事業により堤防復旧、河岸復旧、漏水対策を実施するとともに、河川災害関連事業・河川災害復旧等関連緊急事業により再度災害防止を目的とした河道掘削を実施します。
 - 湧別川
河川災害復旧事業により河岸復旧を実施します。
- 4水系において、住民の避難を促すソフト対策を関係機関と連携して実施します。



常呂川の河道掘削



天端保護の状況

平成29年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要	
河川整備事業	河川改修	網走川	河道掘削、天端保護等
		常呂川	河道掘削等
		湧別川	天端保護等
		渚滑川	河道掘削、天端保護等
	河川維持修繕	網走川、常呂川、湧別川、渚滑川	堤防管理、塵芥処理、水閘門等維持管理等
	河川工作物関連 応急対策	網走川	特殊堤コンクリート矢板補修等
堰堤維持	鹿ノ子ダム	管理用制御処理設備改修、管理設備の維持管理、観測・操作、流木処理等	
災害復旧	網走川	漏水対策等	
	常呂川	堤防復旧、河岸復旧、漏水対策、河道掘削等	
	湧別川	河岸復旧等	

都市水環境整備事業

自然と共生する住みやすい地域社会の形成をめざし、富栄養化の進行に伴う青潮やアオコの発生等によって本来の水環境が損なわれている網走湖において、「網走川水系網走川水環境改善緊急行動計画」(通称：清流ルネッサンスII 平成16年6月)に基づき関係機関及び団体と連携して、水環境を改善するための各種対策を実施します。また、網走地区では「網走かわまちづくり計画」を策定し、網走市によるまちづくりと連携して、管理用道路(散策路)や取付道路等を整備することにより、網走川沿いの水辺の賑わいを創出し、地域の活性化を図ります。

◆ 総合水系環境整備

- 網走川
網走湖の水環境を改善するため、網走湖に逆流する塩水を制御する網走川大曲堰の冬期運用を継続します。
- 網走地区
整備箇所の調査設計等を行うほか、引き続き地域のかかわまちづくり検討会と協働し、網走市の観光振興及び活性化に向けた取組を推進します。

平成29年度 都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事業の概要
総合水系環境整備事業	網走川(網走湖)	網走川大曲堰の運用
	網走地区	調査設計等



網走川大曲堰鋼製起伏ゲート起立中



管理用道路散策路の整備イメージ

道路事業

第8期北海道総合開発計画に基づき、主要施策である「人が輝く地域社会の形成」、「世界に目を向けた産業の振興」及び「強靱で持続可能な国土の形成」を推進するための道路事業を行います。

オホーツク圏はすぐれた資源（農水産物、観光、自然）がありますが、他圏域とのアクセスを妨げる峠部が存在し、冬期は流氷により海路が閉ざされる中、近年多発する暴風雪や台風などの自然災害が大きな課題となっています。

こうした状況を改善するため、高規格幹線道路等の整備、防災対策など安全・安心で豊かな暮らしを支える道づくりを進めます。

◆ 人が輝く地域社会の形成

1. 高速交通ネットワークの形成

道央・道北圏域とオホーツク圏域の交流促進、物流の効率化、観光の活性化を支援する高規格幹線道路「北海道横断自動車道網走線」や「旭川・紋別自動車道」等の整備を進めて、高速交通ネットワーク形成を図ります。

- 高速自動車国道（E61北海道横断自動車道網走線）平成29年度開通をめざし「陸別町小利別～訓子府IC」延長16kmの整備を進めます。
- 一般国道の自動車専用道路（E39旭川・紋別自動車道）「丸瀬布遠軽道路」のうち、残る遠軽瀬戸IC～遠軽IC間延長7kmの整備を進めます。
- 地域高規格道路（遠軽北見道路）「生田原道路」延長6kmの整備を進めます。

◆ 強靱で持続可能な国土の形成

1. 防災対策

安全・安心な信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、道路の防災対策を推進します。

- 国道238号「紋別防雪」の整備を進めます。
- 国道334号「真鯉道路」の整備を進めます。

2. 無電柱化を推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。

- 国道39号北見市本町電線共同溝の整備を進めます。

3. 交通安全対策

事故データや地域の声、ビックデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」を推進します。

- 国道238号紋別市大山交差点改良
 - 国道240号津別町本町交差点改良
 - 国道242号置戸町北光路肩改良
 - 国道333号北見市仁頃事故対策
- など交通事故対策事業を進めます。

4. 道路維持管理

安全性・信頼性の高い通行環境を確保するため、道路パトロール、保守点検を行い、舗装・橋梁の補修、清掃、除草、街路樹の剪定、附帯構造物（ガードケーブル等）の補修、排水施設整備及び防災対策を実施します。

冬期の安全かつ確実な通行環境を確保するため、気象状況や交通状況を考慮し、除排雪の実施や関係機関相互の連携を強化するなど、適切な道路の維持管理を実施します。



E39 旭川・紋別自動車道
丸瀬布遠軽道路



国道334号真鯉道路路面対策



国道333号路肩拡幅



国道273号情報BOX整備



除雪作業



橋梁点検

高速道路ナンバリング

全国の高速道路ネットワークで、路線名に併せて路線番号を用いて案内する「ナンバリング」を導入することで、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を実現します。

路線番号	路線名
E39	旭川紋別道 ASAHIKAWA-MOMBETSU EXP
E61	十勝オホーツク道等

平成29年度 道路事業の概要

路線・地区名	主要事業
E61 北海道横断自動車道網走線（十勝オホーツク自動車道）	〔定寄～北見〕（高規格幹線道路の整備促進）
国道39号	〔北見本町電線共同溝〕（電線共同溝の整備促進）（H29新規）
国道238号	〔紋別防雪〕（吹雪対策整備促進）
国道333号	〔生田原道路〕（地域高規格道路の整備促進）
国道334号	〔真鯉道路〕（防災事業の整備促進）
E39 旭川・紋別自動車道（国道450号）	〔丸瀬布遠軽道路〕（高規格幹線道路の整備促進）
国道39号ほか	交差点改良：国道238号 紋別市大山（H29新規） 国道238号 紋別市落石（H29新規） 国道240号 津別町本町（H29新規） 視距改良：国道240号 津別町相生（H29新規） 国道273号 滝上第5区（H29新規） 国道333号 佐呂間町大成 国道334号 斜里町日の出 路肩改良：国道242号 置戸町北光（H29新規） 国道333号 北見市仁頃 中央帯整備：国道39号 北見市留辺蘂（H29新規） 情報BOX：国道273号 滝上町第5区 （交通安全・交通事故対策の整備推進）

道路の異状を発見したときは・・・

お知らせ下さい
道路の異状!!

道路緊急
ダイヤル

#9910

※通話は
無料です
（全国共通番号）

例えばこんな時



24時間
受付

港湾整備事業

オホーツク圏は安全で良質な農水産物の供給基地であり、管内港湾は、農水産物の物流など背後地域の生活・産業を支える拠点として、また、沖合、沿岸漁業の基地として重要な役割を担っています。このため、本地域の食料供給力の強化を図るため、その物流拠点としての港湾整備に取り組み、海上輸送の安全性と安定性の向上を図ります。また、既存ストックの有効活用を図り、豊かで質の高いウォーターフロント空間づくりを進め、世界水準の観光地の形成に貢献します。

◆ 網走港

新港地区において、港内の静穏度を向上させ、船舶の安全な利用を確保するため、南防波堤の整備を行います。

川筋地区において、安全、安心な荷役環境を確保するため、老朽化が著しい水深3.0m物揚場の改良を行います。

本整備により、プレジャーボート等の小型船舶が安全に利用され、本施設を含む「みなとオアシス網走」エリアでの交流機能等が高まり、地域活性化にも寄与します。



網走港新港地区 南防波堤



紋別港港町地区 水深4.0m西物揚場改良

◆ 紋別港

港町地区において、安全、安心な荷役環境を確保するため、老朽化が著しい水深4.0m西物揚場の改良を行い、荷役活動の効率化を図ります。

平成29年度 港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名	地区名	事業の概要
港湾改修事業	重要港湾 網走港	新港地区 川筋地区	南防波堤 水深3.0m物揚場改良
	重要港湾 紋別港	港町地区	水深4.0m西物揚場改良

水産基盤整備事業

オホーツク管内の第4種漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避難拠点として重要な役割を担っています。

このことを踏まえ、平成29年度は、「国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」、「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を重点的に推進します。

◆ サロマ湖地区

サロマ湖のホタテガイ漁業を支える湖口航路として、漁船の安全な航行を確保するため、航路などの整備を推進します。

◆ 元稲府地区

漁業活動の安全を確保するための防波堤の整備を推進します。

◆ 北海道第3種及び第4種漁港地区

ウトロ漁港、能取漁港及びサロマ湖漁港の長寿命化を図るため、防波堤の補修・調査を行います。

平成29年度 水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	サロマ湖地区 (第4種サロマ湖漁港)	【第2湖口工区】 外郭施設：護岸(航路西) 水域施設：水深4.5m航路
	元稲府地区 (第4種元稲府漁港)	外郭施設：北防波堤
	北海道第3種及び 第4種漁港地区	【ウトロ漁港 ウトロ工区】 輸送施設：道路(補修)
		【能取漁港 湖口工区】 外郭施設：防波堤(防水)(補修)
	【能取漁港 能取工区、卯原内工区】 係留施設：水深2.0m物揚場(補修)	
	【サロマ湖漁港 第1湖口工区】 外郭施設：防波堤(防水)(補修)	



サロマ湖漁港(第2湖口工区)水深4.5m 航路浚渫

農業農村整備事業

管内では、畑作と酪農を主体とした大規模な土地利用型農業や水田、野菜作など多様な農業が展開されています。農業農村整備事業では、北海道の食料供給力を向上させ、農業の持続的発展を図るため、畑地かんがい、排水改良及び区画整理による生産基盤の整備を促進します。このため、8地区の事業実施と1地区の地区調査及び基幹的農業用排水施設の長寿命化に向けた調査等を実施します。

◆ 国営かんがい排水事業

排水能力向上のため、美女地区の事業を推進します。
農業用水の安定供給と排水改良のため、兵村地区の事業を推進します。
農業用水の安定供給のため、網走川中央地区の事業に着手します。

◆ 国営施設機能保全事業

排水施設の機能を保全するため、宇遠別川地区の事業を推進します。

◆ 国営施設応急対策事業

用水施設の機能を保全するため、西網走地区の事業を推進します。
排水施設の機能を保全するため、八十土地区の事業に着手します。

◆ 国営農地再編整備事業

大区画化や乾畑化など、ほ場条件を改善するため、津別地区の事業を推進します。

◆ 国営緊急農地再編整備事業

大区画化等を通じた優良農地の確保のため、雄武丘陵地区の事業を推進します。

◆ 調査計画

事業計画樹立のため、北見二期地区の調査を行います。

◆ 諸調査

地域の農業農村整備構想の策定及び営農推進状況把握のため、各種調査を行います。
また、基幹的農業用排水施設の長寿命化を図ることを目的とした機能診断調査等を行います。



美女地区黒瀬川排水路



津別地区津別北工区 区画整理

平成29年度 農業農村整備事業の概要

1 実施地区

事業種別	地区名	関係市町村名	受益面積 (ha)	事業の概要
国営かんがい排水事業	美女地区	美幌町 大空町	1,728	排水機場1カ所、排水路4条
	兵村地区	湧別町	1,313	用水路1条、排水路2条
	網走川中央地区	美幌町 大空町	2,289	頭首工1カ所、用水路4条
国営施設機能保全事業	宇遠別川地区	斜里町 清里町	4,188	排水機場1カ所、排水路15条
国営施設応急対策事業	西網走地区	網走市	2,855	用水路3条
	八十土地区	紋別市	601	排水路河口施設1式
国営農地再編整備事業	津別地区	津別町	2,433	農地造成8ha 区画整理2,425ha
国営緊急農地再編整備事業	雄武丘陵地区	雄武町	3,663	区画整理3,663ha

2 調査計画地区

調査名	地区名	関係市町村名	受益面積 (ha)
国営地区調査	北見二期地区	北見市	2,813

「わが村は美しくー北海道」運動

運動の目的

「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために2001年にスタートしました。取組の一環として2002年から2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。

それぞれの地域に大切なもの「地域の資源」を掘り起こし、地域の活力とする活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

第8回コンクール

【優秀賞】株式会社 知床ごんた村(斜里町)



～ビニールハウス内のミニトマト～



～小学生の食育体験ビザ作りの様子～

【奨励賞】

- ◆ るべしへ白花豆くらぶ (北見市)
- ◆ 上ところホテル友の会 (北見市)

「わが村」運動3つの柱

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

